

ては『犬山愛・草屯愛・日本愛・台湾愛・人間愛・ロータリー愛』の意味を持って、犬山ロータリー、草屯扶輪社の間で、42年間も続けられてきたのか。と思った次第です。

以上



草屯扶輪社訪問帰国報告
(谷定貴之国際奉仕委員長)



失礼いたします。過日 11月 23 日木曜日から、26 日日曜日まで草屯扶輪社の例会参加ならびに世界社会奉仕 WCS 事業の拠出金贈呈のため、台湾を訪問してきましたので、ご報告いたします。

今回の訪問では、若手メンバーが訪れたことがあまりない、台中市周辺を巡って参りました。



空港での真野さんの表情です。いつも嬉しそうに参加して下さる真野さんは、いい雰囲気を作ってくれます。

最初に訪れましたのは、台湾大地震の被災中学校が、そのまま博物館、記念館になっている台湾地震博物館です。

ご覧のように被災した中学校校舎、グラウンドが耐震補強をされながら、当時のままの姿で残されています。館内には、非常に多くの小学生が見学に来ており、防災教育の一環として上手に利用されており、見学の小学生が備え付けの、自身体験装置などで興味深く実験をしているのが印象的でした。日本も大震災を経験しておりますが、明日は我が身ということを、ひと時も忘れてはならないと、強い印象を与えてくれる場所でした。

ここで草屯扶輪社の方々が出迎えをしてくださり、一緒に見学の後、例会会場に向かいました。



本年は草屯扶輪社 47 周年ですが、周年事業はなく、通常の例会参加となり、この例会にて WCS の拠出金を贈呈致しました。



例会後、懇親会があり、その後ローラーホッケーの大会会場に移動し、試合を観戦後選手、大会関係者らと記念写真を撮り、激励して 1 日目の日程は終了しました。



二日目からは観光ですが、草屯扶輪社のメンバーがアテンドしてくださり、鹿港民族文物館から龍山寺への参拝に出かけました。

途中人力車ならぬ、自転車タクシーが用意されており、短い行程でしたが、非常に楽しい時間を過ごせました。

その日の夕食は、非常にレベルの高いレストランで、北京ダックが激ウマ、非常に美味しい豪華夕食でありました。

三日目は、三義の木彫りの町を訪問し、そこから今は廃線になっている鉄道が一番標高が高い駅を訪れました。

そこでは線路の上を歩くことが出来、参加メンバー全員が子どもの頃に返って、はしゃいでいました。幽霊が出そうな真つ暗なトンネルは、やはり気味が悪かったです。

そして、犬山主催のランチ会へと移動、吉田会長の挨拶、台湾 LAND さんの乾杯に始まり、今回のおもてなしに対して、メンバー全員が感謝の意を伝え、あつという間でしたが最後には、草屯扶輪社の次年度会長、セメントさんの挨拶、山根副会長の締め挨拶で無事終えることが出来ました。

今回もそうですが、草屯扶輪社のメンバーは、奥様方も積極的に参加され、親睦を深めることに、大きく寄与されておりました。犬山ロータリークラブとしても、今後人数の拡大とともに、奥様方をお連れすることにも重点を置くべきであり、一生懸命にお迎えをいただいていることに感謝しなくてはならないと実感も致しました。

河田さん、小川節子さんのお誕生日も把握されており、そのあり方にも感動致しました。

三日目の夜は、会長、幹事ナイトということで、私、国際奉仕委員長と安田青少年奉仕委員長に対し、皆様から労いの言葉をかけていただきました。右も左もわからないところから始まりましたが、小川パスト会長、安田青少年奉仕委員長、執行部の皆さまから、多くの教を賜り、ご指導していただきながら、何とか無事に事件もなく終えることが出来ました。

本当に感謝しております。帰国前のランチ会は、ホッとして違う意味でも楽しかったです。

以上、台湾草屯扶輪社訪問の報告とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



ご報告

☆東尾張分区 会長幹事会

去る 11 月 10 日 (金) 瀬戸 RC ホストのもと、東尾張分区会長幹事会が開催され、山根副会長、原幹事が出席いたしました。

☆年末の交通安全県民運動

12 月 4 日(月)午前 9 時 30 分より年末の交通安全県民運動の一環として「シートベルト・チャイルドシート全席着用関所」街頭啓発活動が、イオン扶桑店駐車場にて実施され、12 名の方にご参加をいただきました。



参加された皆様、大変お疲れさまでございました

☆犬山成田山 第 54 回成田山学童席上揮毫大会

犬山成田山より、第 54 回成田山学童席上揮毫大会協力のお礼状と実施報告書、入賞者名簿をいただきました。